



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 FRACTALE株式会社

上場取引所 東

コード番号 3750 URL <https://www.frac-tale.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀江 聡寧

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 関本 秀貴

TEL 03-5501-4100

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,388	17.6	731		745		831	
2020年3月期	1,180	38.7	129		185		319	46.1

(注) 包括利益 2021年3月期 775百万円 ( %) 2020年3月期 317百万円 ( 46.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	101.64		23.3	4.9	52.7
2020年3月期	47.58		8.6	1.6	10.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,924	3,548	22.3	381.28
2020年3月期	15,482	3,832	24.6	568.06

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,321百万円 2020年3月期 3,812百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	82	6	150	1,069
2020年3月期	531	7,423	6,358	999

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	67	21.0	1.8
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)								

(注) 配当予想につきましては本日(2021年5月14日)公表の「2021年3月期連結業績と前期実績との差異及び剰余金の配当(期末配当無配)」に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	44.1	180		280		165		18.94

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
除外 1社(社名) Cytori Japan S1投資事業有限責任組合
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	8,711,419 株	2020年3月期	7,183,195 株
期末自己株式数	2021年3月期	450 株	2020年3月期	471,216 株
期中平均株式数	2021年3月期	8,184,400 株	2020年3月期	6,712,293 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	142	39.5	12		92	79.5	7	98.5
2020年3月期	235	6.5	95	46.4	450	31.9	543	54.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	0.97	
2020年3月期	81.01	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	12,759		7,171		54.5		823.29	
2020年3月期	9,819		3,943		40.2		587.50	

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,947百万円 2020年3月期 3,943百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動に大きな制約を受け、非常に厳しい状況で推移いたしました。停滞していた経済活動は政府の各種政策が実施され徐々に再開しつつありましたが、再び感染拡大がみられるなど、収束時期の見通しが立たないことから依然として厳しい事業環境が続き、景気・経済の先行きにつきましては不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,388百万円（前連結会計年度比17.6%増）、営業損失は731百万円（前連結会計年度 営業損失129百万円）、経常損失は745百万円（前連結会計年度 経常損失185百万円）となり、親会社株主に帰属する当期純損失は831百万円（前連結会計年度 親会社株主に帰属する当期純利益319百万円）となりました。

なお、2020年7月7日付で、連結子会社であるサイトリ・セラピューティクス株式会社（以下「サイトリ社」という。）と株式交換を行い、サイトリ社を当社の完全子会社といたしました。これによりCytori Japan S1投資事業有限責任組合は事業の目的を達成したため、同年12月に解散し、連結の範囲から除外しております。

また、同年9月1日付で、FRACTALEホテルマネジメント株式会社を存続会社、株式会社アレグロクスホテルマネジメントを消滅会社とする吸収合併を行い、同日付でFRACTALEホテルマネジメント株式会社の商号をフラクタルホスピタリティ株式会社へ変更いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、「不動産&フィナンシャル事業」の単一セグメントであった従来のセグメント区分を第1四半期連結会計期間より「メディカル事業」「リアルアセット事業」の2区分に変更しております。

また、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

#### (メディカル事業)

当連結会計年度におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスⅢとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関や大学病院他へ積極的に販売してまいりました。

この結果、当連結会計年度のメディカル事業の売上高は318百万円（前年同期比315.8%増）となりました。営業損益につきましては、難治性疾患の国内治験の支援及び当該疾患の医療機器の国内承認申請費用に加え、新株予約権に係る株式報酬費用211百万円を計上したことにより、営業損失352百万円（前年同期 営業損失123百万円）となりました。

#### (リアルアセット事業)

当連結会計年度におけるリアルアセット事業は、保有物件の売却及び商業ビルの安定的な賃料収入が売上に貢献しました。しかしながら、当社グループ保有のホテルにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い各種宴会のキャンセルに加え、自治体からの要請により旅行自粛による宿泊者の大幅な減少、レストラン等の臨時休業が影響を及ぼし、売上高は低調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度のリアルアセット事業の売上高は1,069百万円（前年同期比3.1%減）となりました。営業損益につきましては、運営するホテルの雇用の維持を図りつつ経費圧縮に努めてまいりましたが、人件費及びホテル不動産の減価償却費負担により、営業損失224百万円（前年同期 営業利益130百万円）を計上することとなりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における流動資産は6,270百万円となり、前連結会計年度末より209百万円減少いたしました。これは主に、販売用不動産の売却によるものであります。

固定資産は8,653百万円となり、前連結会計年度末より349百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

この結果、総資産は14,924百万円となり、前連結会計年度末より558百万円減少いたしました。

当連結会計年度末における流動負債は735百万円となり、前連結会計年度末より77百万円減少いたしました。

固定負債は10,640百万円となり、前連結会計年度末より196百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済が、調達を上回ったことによるものであります。

この結果、負債合計は11,375百万円となり、前連結会計年度末より274百万円減少いたしました。

純資産は、3,548百万円となり、前連結会計年度末より284百万円減少いたしました。これは主に非支配株主からの払込みによる資本剰余金の増加及び新株予約権の発行による増加を親会社に帰属する当期純損失が上回ったことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、新型コロナウイルスの影響による営業キャッシュ・フローの減少はあったものの、金融機関からの資金調達に加え、当社および連結子会社の増資を実行したことにより、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、当連結会計年度末には1,069百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、減少した資金は82百万円（前年同期は531百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前当期純損失を、主に販売用不動産売却により補填したものの、利息の支払額まで補填出来なかったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、増加した資金は6百万円（前年同期は7,423百万円の減少）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、増加した資金は150百万円（前年同期は6,358百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の収入及び非支配株主からの払込による収入が、長期借入金の返済を上回ったことによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	95.6	57.2	48.1	24.6	22.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	73.8	61.2	43.1	44.0	84.1
債務償還年数 (年)	—	8.6	—	16.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	577.4	14.1	—	9.2	—

(注) ・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値× 期末発行済株式総数により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

当連結会計年度は新型コロナウイルスが世界的に流行し、移動は制限され、世界経済は深刻な影響を被りました。今後、ワクチン接種の広がりや沈静化が期待されますが、しばらくは元通りの生活に戻ることは厳しいと想定されます。国内においては、外出自粛要請やホテル・観光・飲食業を中心とした休業要請や営業時間短縮により、国内需要の回復の兆しはいまだ見えない不透明な状況にあります。その対策として当社グループでは、ホテル金沢株式会社において、資金借入による手元資金の確保、少人数によるオペレーション体制の構築、各種コストの削減を実行しており、安定した資金繰りと収益の改善に向けた対策を講じております。

当社グループは、「医療技術やバイオを活用して価値を創造するプラットフォームカンパニー」を目標に掲げ、サイトリ社を2020年7月に株式交換により完全子会社化いたしました。近年の市場環境の大きな変化や世界中で猛威をふるう新型コロナウイルスの影響で経営環境の厳しさが増している不動産事業及び不動産関連投資並びにホテル事業における事業展開のみならず、医療技術やバイオを付加した事業を展開し、複数の成長軸をもって継続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

2022年3月期通期の連結業績見通しは次のとおりであります。

[2022年3月期] (単位：百万円)

	連結
	通期
売上高	2,000
営業利益	△180
経常利益	△280
親会社株主に帰属する 当期純利益	△165

また当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して、定期的な利益還元を努めております。しかしながら2021年3月期は新型コロナウイルス感染拡大によって引き起こされた営業活動の停滞・制約が通期連結業績に甚大な影響を与えたこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失831百万円を計上する結果となりました。つきましては、誠に遺憾ではございますが、2021年3月期の期末配当金を無配とさせていただきます。

当業績予想等は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	999,505	1,069,738
売掛金	39,980	81,818
販売用不動産	5,246,308	4,868,339
商品	122,771	160,609
その他	71,064	89,879
流動資産合計	6,479,631	6,270,385
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,777,119	3,580,861
土地	3,871,546	3,871,546
その他(純額)	13,278	14,158
有形固定資産合計	7,661,944	7,466,566
無形固定資産		
のれん	784,941	739,009
その他	74,398	61,539
無形固定資産合計	859,340	800,549
投資その他の資産		
投資有価証券	369,242	313,853
その他	112,617	72,650
投資その他の資産合計	481,859	386,503
固定資産合計	9,003,144	8,653,619
資産合計	15,482,775	14,924,004
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	27,100	-
1年内返済予定の長期借入金	520,800	520,800
その他	264,700	214,303
流動負債合計	812,600	735,103
固定負債		
長期借入金	8,218,800	8,013,000
匿名組合出資預り金	986,412	972,415
繰延税金負債	1,314,565	1,400,842
その他	317,647	254,271
固定負債合計	10,837,426	10,640,530
負債合計	11,650,026	11,375,633
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,407,796	2,678,771
利益剰余金	1,442,216	543,233
自己株式	△137,187	△670
株主資本合計	3,812,824	3,321,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△47	6
その他の包括利益累計額合計	△47	6
新株予約権	-	223,771
非支配株主持分	19,970	3,259
純資産合計	3,832,748	3,548,370
負債純資産合計	15,482,775	14,924,004

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,180,408	1,388,292
売上原価	424,085	627,969
売上総利益	756,322	760,322
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	215,260	312,949
株式報酬費用	-	211,501
減価償却費	112,210	223,889
その他	558,011	743,654
販売費及び一般管理費合計	885,482	1,491,994
営業損失(△)	△129,159	△731,671
営業外収益		
受取保険金	-	16,068
助成金収入	-	53,207
その他	3,744	18,209
営業外収益合計	3,744	87,484
営業外費用		
支払利息	57,470	84,537
その他	2,577	16,883
営業外費用合計	60,047	101,420
経常損失(△)	△185,462	△745,608
特別利益		
違約金収入	495,000	-
現物分配益	-	77,368
その他	97	-
特別利益合計	495,097	77,368
特別損失		
固定資産処分損	2,656	-
本社移転費用	1,212	-
特別損失合計	3,869	-
匿名組合損益分配前税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	305,765	△668,239
匿名組合損益分配額	△13,587	△13,996
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	319,353	△654,243
法人税、住民税及び事業税	1,826	4,804
法人税等調整額	33	116,398
法人税等合計	1,859	121,202
当期純利益又は当期純損失(△)	317,494	△775,445
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1,900	56,417
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	319,394	△831,863

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	317,494	△775,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	54
その他の包括利益合計	△47	54
包括利益	317,447	△775,391
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	319,347	△831,808
非支配株主に係る包括利益	△1,900	56,417

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,380,196	1,257,073	△136,694	3,600,574
当期変動額					
連結子会社の増資による持分の増減		27,600			27,600
剰余金の配当			△134,252		△134,252
親会社株主に帰属する当期純利益			319,394		319,394
自己株式の取得				△492	△492
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	27,600	185,142	△492	212,249
当期末残高	100,000	2,407,796	1,442,216	△137,187	3,812,824

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	—	3,600,574
当期変動額				
連結子会社の増資による持分の増減		—		27,600
剰余金の配当		—		△134,252
親会社株主に帰属する当期純利益		—		319,394
自己株式の取得		—		△492
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△47	△47	19,970	19,923
当期変動額合計	△47	△47	19,970	232,173
当期末残高	△47	△47	19,970	3,832,748

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,407,796	1,442,216	△137,187	3,812,824
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	31,572	31,572			63,144
減資	△31,572	31,572			—
剰余金の配当			△67,119		△67,119
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△831,863		△831,863
株式交換による増減		△15,847		137,187	121,340
自己株式の取得				△670	△670
連結範囲の変動		13			13
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		223,663			223,663
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	270,975	△898,983	136,516	△491,491
当期末残高	100,000	2,678,771	543,233	△670	3,321,333

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△47	△47	—	19,970	3,832,748
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					63,144
減資					—
剰余金の配当					△67,119
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△831,863
株式交換による増減					121,340
自己株式の取得					△670
連結範囲の変動					13
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					223,663
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	54	54	223,771	△16,711	207,113
当期変動額合計	54	54	223,771	△16,711	△284,377
当期末残高	6	6	223,771	3,259	3,548,370

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	319,353	△654,243
減価償却費	149,876	261,919
のれん償却額	23,668	45,932
株式報酬費用	-	211,501
たな卸資産の増減額 (△は増加)	246,937	303,642
前受金の増減額 (△は減少)	△456,648	-
その他	308,084	△164,144
小計	591,273	4,608
利息の支払額	△58,041	△84,537
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,622	△2,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,609	△82,897
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,480	△15,959
投資有価証券の取得による支出	△169,064	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,604,032	-
貸付けによる支出	△5,630,000	-
合併による収入	-	15,614
その他	△8,120	7,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,423,698	6,702
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△280,000	-
長期借入れによる収入	6,000,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△260,400	△520,800
匿名組合員からの払込みによる収入	1,000,000	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	61,181
新株予約権の発行による収入	-	7,896
非支配株主からの払込みによる収入	27,600	375,088
配当金の支払額	△134,252	△67,119
その他	5,410	△5,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,358,358	150,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	△158	△4,218
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△533,889	70,233
現金及び現金同等物の期首残高	1,533,395	999,505
現金及び現金同等物の期末残高	999,505	1,069,738

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）は、各地で感染力の強い変異株を含む感染再拡大が続いていることから、経済活動改善の見通しは依然として不透明な状況となっております。

当社グループでは、本感染症の影響は秋ごろまで継続し、その後緩やかに回復していくことを前提として、のれんの評価、繰延税金資産の回収可能性の見積りを行っております。

このため、想定よりも感染拡大の収束が遅れ、影響が長期化した場合には、のれんの減損処理、繰延税金資産の取り崩し等が必要となる可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に経済的特徴や製品・サービスの内容等を総合的に勘案して事業セグメントを集約し、第1四半期連結会計期間より「メディカル事業」「リアルアセット事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりです。

- ・「メディカル事業」 : 再生医療事業への投資
- ・「リアルアセット事業」 : 主に不動産売買、不動産事業プロジェクトへの投資、ホテルビジネス

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	メディカル 事業	リアルアセット 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,628	1,103,780	1,180,408	—	1,180,408
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	76,628	1,103,780	1,180,408	—	1,180,408
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△123,909	130,975	7,066	△136,225	△129,159
セグメント資産	451,498	14,564,047	15,015,545	467,229	15,482,775
その他の項目					
減価償却費	8,460	139,642	148,103	1,773	149,876
のれん償却額	6,238	17,429	23,668	—	23,668
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	87,637	7,746,013	7,833,650	8,864	7,842,515

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	メディカル 事業	リアルアセット 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	318,586	1,069,706	1,388,292	—	1,388,292
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	318,586	1,069,706	1,388,292	—	1,388,292
セグメント損失 (△)	△352,125	△224,494	△576,620	△155,051	△731,671
セグメント資産	645,997	13,814,274	14,460,272	463,732	14,924,004
その他の項目					
減価償却費	16,787	243,131	259,918	2,000	261,919
のれん償却額	11,073	34,858	45,932	—	45,932
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	692	14,933	15,625	754	16,379

- (注) 1 前連結会計年度のセグメント利益又はセグメント損失の調整額△136,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 当連結会計年度のセグメント損失の調整額△155,051千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
D社	277,777	リアルアセット事業

(注) 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
D社	277,777	リアルアセット事業
E社	236,000	リアルアセット事業

(注) 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

【報告セグメントごとののれん償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	メディカル事業	リアルアセット事業	合計
当期末残高	105,195	679,746	784,941

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	メディカル事業	リアルアセット事業	合計
当期末残高	94,122	644,887	739,009

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	568円06銭	381円28銭
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	47円58銭	△101円64銭

(注) 1 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しますが1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額	3,832,748千円	3,548,370千円
純資産の部の合計額から控除する金額	19,970千円	227,030千円
普通株式に係る期末の純資産額	3,812,777千円	3,321,340千円
(うち新株予約権)	( ー千円 )	( 223,771千円 )
(うち非支配株主持分)	( 19,970千円 )	( 3,259千円 )
1株当たり純資産の算定に用いられた期末の普通株式の数	6,711,979株	8,710,969株

3 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	319,394千円	△831,863千円
普通株主に帰属しない金額	ー千円	ー千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	319,394千円	△831,863千円
普通株式の期中平均株式数	6,712,293株	8,184,400株

(重要な後発事象)

第2回新株予約権の行使

当社が2021年1月13日に発行いたしました第2回新株予約権につき、2021年4月1日から2021年5月14日までの間に、以下のとおり行使されております。

- (1) 行使新株予約権個数：330個
- (2) 交付株式数：33,000株
- (3) 行使価格総額：42,405千円
- (4) 未行使新株予約権個数：14,190個
- (5) 増加する発行済株式数：33,000株
- (6) 資本金及び資本準備金増加額：資 本 金 21,341千円  
資本準備金 21,341千円

なお、資本金増加額、資本準備金増加額には新株予約権の振替額がそれぞれ含まれております。

上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、2021年5月14日現在の発行済株式総数は8,744,419株、資本金は121,341千円、資本準備金は2,336,211千円となっております。